

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

南山形地区との連携実践プラン「5つの具体的活動」

◎シンボルテーマ

「沃野^{よくづ}が広がる南山形～氷河期から刻む2万年の歴史と恵みの里」

実践プラン1. 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動

- ① 南山形地区エリアを「自然・歴史野外ミュージアム」として構想し、学びと観光による地域活性化をはかる。そのため以下のことに取り組む。
 - ・ いくつかの周遊コース策定、下草刈りや案内・説明看板設置などを行う。
 - ・ 大学運行バスによる周遊とガイドスタッフ（地区民・学生）による現地説明を試みしてみる。ガイドスタッフ養成のための講座は年5回程度開く。
 - ・ 郷土の食文化とかかわらせる工夫をする。例えば、周遊昼食「ミュージアム弁当」などの開発を検討するなど。
 - ・ 地場産業、例えば黒沢温泉旅館（宿泊・休憩）、シベール（お菓子のお土産）などと連携ができないか検討してみる。
 - ・ 地区外への広報活動を活発に行う。例えばJR東日本「小さな旅」申し込みなど、市外・県外の人々の関心興味を集める手だてを考える。
 - ・ 周遊を地区民の学びや近隣小・中・高校生徒の総合学習・地域学習などに役立てる。
- ② 周遊コースに組み込むもの
 - ◆氷河期の埋没林の保護・普及活動
周遊コースに組み込みつつ、今後いかに保護・普及活動に努めるかを検討する。
 - ◆絶滅危惧種「オキナグサ（翁草）」の栽培・普及活動
 - ・ 「南山形地区の花」となるよう花壇栽培のいっそうの拡大をはかる。
 - ・ 「茂吉が詠んだオキナグサ群生の里」構想を推進する（散策路などの策定）。

実践プラン2. 「南山形地区ガイドマップ」作成・出版活動

- ① 既刊の『南山形ふるさとの歴史』『風土豊かな恵みの里』などを活用してそれらを要約した内容、さらにあらたな要素を加えた内容など検討する。
- ② 写真・イラストなどを盛り込んだ手軽なハンドマップをめざす。

実践プラン3. DVD「南山形地区物語」作成・上映活動

- ① 南山形地区の自然、歴史・文化編または春・夏・秋・冬の各編の構成とする。
- ② 「大明神堰」（天保4年の「一夜掘り」）の題材を組み込む。
現在も南山形旧6ヵ村の広大な田んぼを潤す重要水路として取り上げる。
- ③ 撮影のための実技研修・講習会等を開催する

実践プラン4. 各種「講座」の開設

「大学・地域の連携講座」

- ① 内容：東北文教大学教員または地域の先生等による講義または演習
- ② 目的：南山形地区民、地区内小中高校教職員などを中心とした学習の場
- ③ 会場：南山形コミュニティーセンター
- ④ 日時：土曜日（または日曜日）の午後13:30～15:00
- ⑤ 回数：単年度ごと5回

※ 学生には受付、資料配布、会場整備、その他の業務を行ってまいります。

実践プラン5. 谷柏田植踊（中断中）の復活・継承活動

- ① 学生と保存会・地区民による合同の復活・継承活動を検討してみる。
- ② 復活後は成沢田植踊や西山形田植踊などとの合同公演開催をめざす。